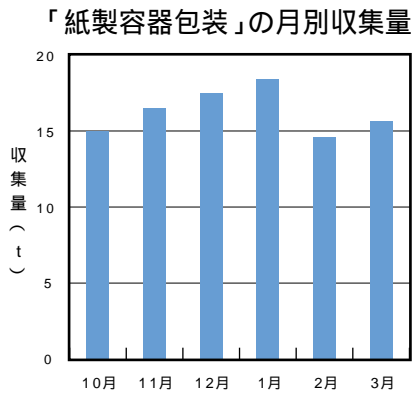




小学校では、分別のしかたやごみを減らす方法を考える学習が行われています。

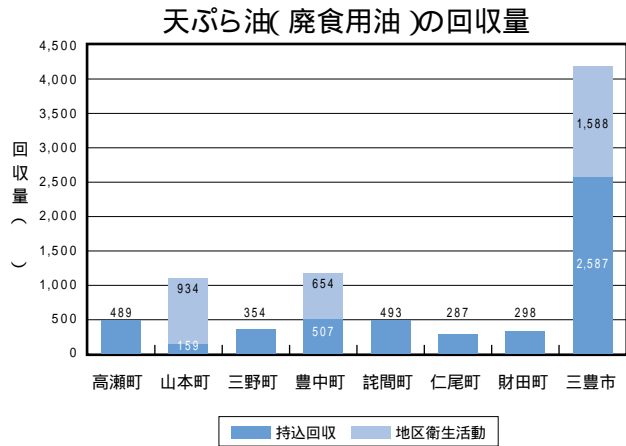


10月から、新たな資源化への取り組みとして、市全体で分別収集が始まりました。毎月約15tの紙製容器包装が収集されています。

紙製容器包装は  
1カ月約15トン

# あなたの手で ごみを資源へ

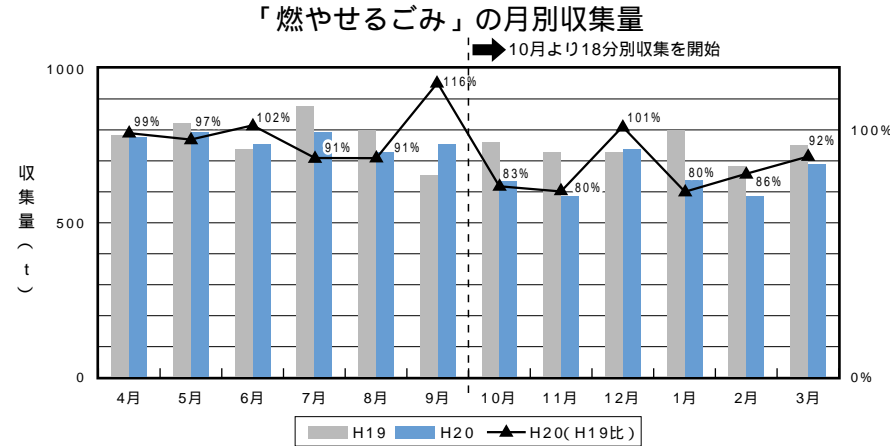
ごみの分別を市内統一して8カ月。  
皆さんの18分別への取り組みが、ごみの減量という結果として現れ始めています。  
昨年10月から今年3月までの半年間の経過をお伝えします。



天ぷら油は、持込回収により2,587tが回収されました。これは、ポリ容器(20ℓ)約130個分にもなります。さらに、地区衛生組織連合会山本支部と豊中支部では、地区衛生活動として1,588ℓが回収されました。回収された天ぷら油は、バイオデューゼル燃料に精製され、3月から三豊市の一部のパッカー車にも使用されています。



天ぷら油(廃食用油)は  
パッカー車の燃料に

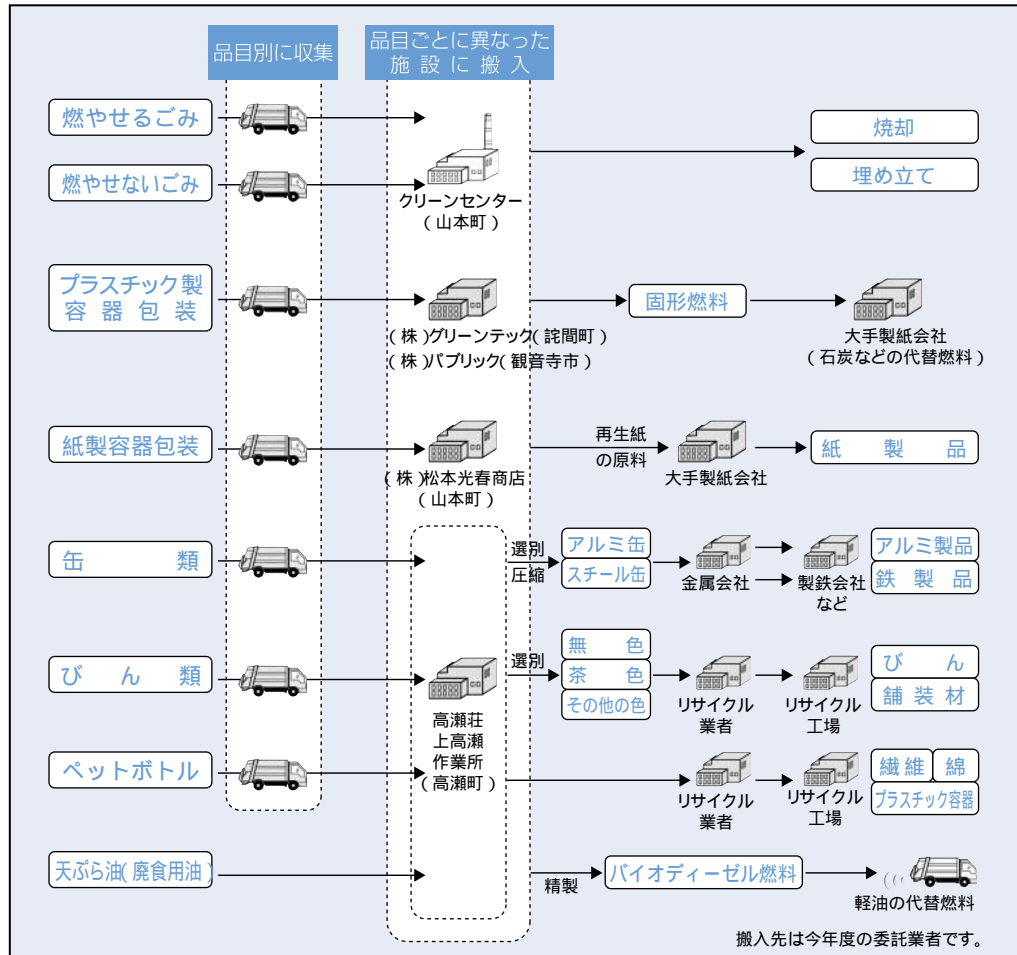


対前年度比87%と約1割減となりました。これは、「燃やせるごみ」に出されていた紙製容器包装やプラスチック製容器包装が分別されたためと考えます。

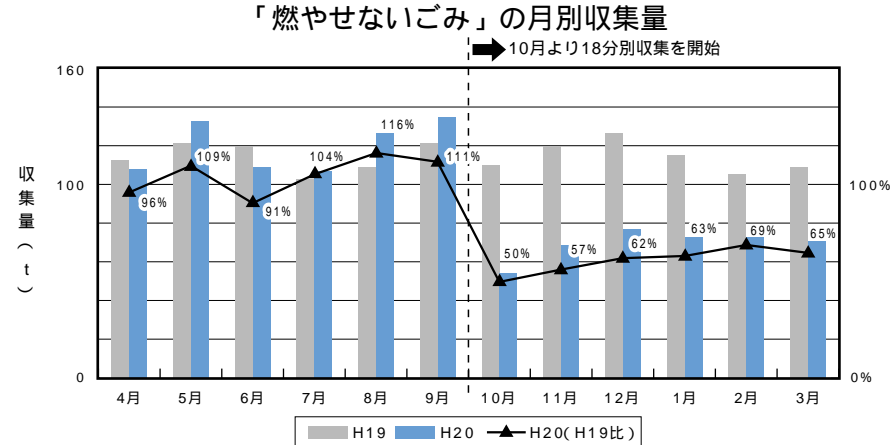
燃やせるごみは  
約1割減

18分別を始めて、ごみの量は確実に減っています

まだまだ「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」の中にリサイクル可能なものがあります。皆さんの一層の分別意識と協力で、「処分するごみ」から「活かすごみ(資源)」にしていきたいです。ごみを活かすのはあなたです。



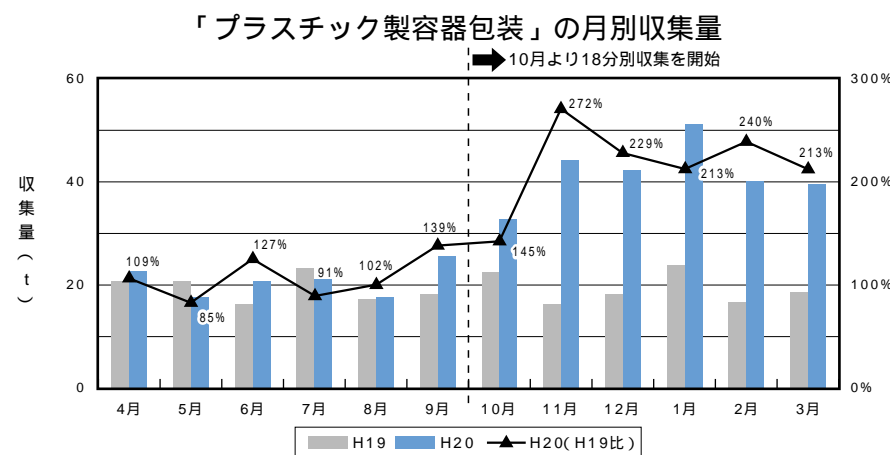
収集したごみのゆくえ



対前年度比61%と約4割減となり、収集量が大幅に減少しました。これは、「燃やせないごみ」として出されていたプラスチック製容器包装、びん類、缶類、金属ごみおよび有害ごみが分別されたためと考えます。

燃やせないごみは  
約4割減

ごみは分ければ資源



山本町、三野町、詫間町では以前から分別収集を行っていましたが、10月から市全体で資源化への取り組みが始まり、収集量は約2倍になりました。

プラスチック製  
容器包装は約2倍